

## 令和4年度第2回社会教育委員会議定例会会議録

- 【日時】 令和4年（2022年）8月19日（金）14時30分～16時
- 【場所】 鎌倉生涯学習センター第5集会室
- 【出席委員】 梨本副議長、田中委員、品川委員、下山委員、遠山委員、石井委員、島田委員、杉野委員
- 【行政職員】 佐々木教育文化財部長、茂木教育文化財部次長、森教育文化財部次長、瀬谷教育文化財部次長、鈴木文化財課長、栗原図書館長
- 【事務局】 松山社会教育主事、岸社会教育指導員

### 【議事内容】

#### 1 開会

- ・ 定刻になり、蛭田議長から開会の宣言により会議を開始した。
- ・ 委員10名のうち、蛭田議長、高橋委員の2名欠席。社会教育委員会議程第3条第1項の規程に基づき、過半数の出席があることから会議が成立していることを事務局より報告した。ない、議長が欠席のため、副議長の梨本委員が議長代行を務める。
- ・ 傍聴者なし。
- ・ iPadでの資料閲覧方法について説明を行い、会議を開催した。

#### 梨本副議長

本日議長を務める。今まさに大河ドラマが非常に人気で、文化財、建物に囲まれる中で生活していることが子どもや大人の貴重な教育資源になっていると日々実感している。社会教育を今後もさらに豊かにするように検討していけたらと思っている。

議題に入る。事務局にはどの資料を開くか説明をお願いします。

#### (1) 報告事項

ア 令和4年度社会教育事業 春夏秋冬 鎌倉武 (KamaClub) の実施状況について

#### 事務局

令和4年度新たな社会教育事業春夏秋冬鎌倉武について報告する。02番の議案集は1ページ。今年度新規社会教育事業の～春夏秋冬～鎌倉武について春の「鎌倉歴史探訪」と「なつの学習教室」について報告する。鎌倉武～春「鎌倉歴史探訪」は小学生11名、中学生1名の12人、また鎌倉女子大から5名の学生ボランティア希望があった。チェックポイントの説明等に鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館の学芸員4名が参加した。実施の様子について資料「鎌倉市教育委員会 note」をご覧いただきたい。当日は2グループに分かれて、前後に学生ボランティアが立ち、それぞれのコースを回った。学生ボランティアは事前のコース確認やiPadでのAR確認等を行っていたため落ち着いてグループをまとめ

ていた。移動の際も歴史や自然について、学生と参加した児童生徒とで話しながら交流を深めていた。後と前について学生が参加者を引っ張ってくれチェックポイントでは学芸員がそれぞれの説明を行った。チェックポイントでは学芸員の説明に歓声を上げる子、ARに夢中で話を聞かない子、そのような児童にも優しく接する学芸員の姿、ARの使い方を教える学生ボランティア等様々な交流の様子が見られた。ARを使つての活動では、子供たちもしゃがんで中に入ろうとしたり、それぞれ自分たちでARを見ながら学習をしていた。アンケートでは「違う学校の人やボランティアの人と話すことができた。」「鎌倉の歴史の知る事が出来たと思う。」「次の鎌倉武に参加したい。」と回答があった。質問項目では全ての児童が高評価の項目を選んでいて。

次に鎌倉武～夏、「なつの学習教室」については、今泉小学校、稲村ヶ崎小学校、手広中学校での開催を予定していたが、コロナウイルス感染症拡大のため、稲村ヶ崎小学校、手広中学校については中止とした。今泉小学校は7月26日（火）、児童25名、7月27日（水）児童13名のべ38名の参加があり、退職教員3名が指導者となり、1年生から6年生が自分達の持ってきた課題に取り組んでいた。今後の課題としては、学生ボランティアの学校行事との兼ね合いを考える等、日程調整がより必要になると感じた。また3時間、休憩を挟みながらの実施としたが、低学年には長過ぎたようで、集中力を欠く様子が見られた。時間については今後検討する必要性を感じた。今後の予定は、秋の吉屋信子記念館での写生や秋の自然学習、冬の音楽会等を計画しているが、学校における新型コロナ感染症の陽性者は、この夏休みに於いても連日報告が数十名であり、感染状況や感染対策徹底して進めていきたい。

#### **梨本副議長**

ただいま報告を受けた、令和4年度社会教育事業 春夏秋冬鎌倉武の実施報告について質問、意見はいかがか。

#### **品川委員**

ARに夢中で話を聞かない感じは良く分かるなと思って少し笑った。しかし楽しんで取り組んでいる事が、次の活動に繋がれば良いと思いながら聞いていた。

#### **石井委員**

中学生1年参加と聞いたが、様子はどうだったか。

#### **事務局**

最初は中学生がいない事に戸惑っていて、保護者も一緒に回りたいと言っていたが、子ども同士の交流も考え、心配であればグループの後ろで私たちも回るので一緒に回ったらどうかと提案した。中学生は、小学生とも話が弾んでいた。歴史が好きだったので帰る時にもう一度来たいとアンケート書いていた。

#### **梨本副議長**

鎌倉女子大学のボランティア学生が私のゼミ生でお世話になった。子どもたちの方が非常に歴史に詳しく、大河ドラマ見ており、逆に私のゼミ生は誰も見てなかったと言う事だっ

た。子ども達の方が知識が先行していた。暑い日だったが気を配りながら全員が歩き通した会になった。非常に良い機会だったので、是非来年も続けて欲しいと思えるような企画だったと思う。

#### **杉野委員**

参加人数は人数的には妥当人数だったのか。思ったより少ないと思うが。

#### **事務局**

30名程度を10人グループに分かれて学生ボランティアに付いてほしいと思っていたが、ポスターのイラストも堅い感じであったのと、周知等の工夫の課題があったと思っている。次回は、30名程度は集めたいと思う。

#### **遠山委員**

なつの学習の低学年の参加者は、3時間が長く感じたと言う事だったが、具体的にどういう内容だったのか。

#### **事務局**

各自、宿題やドリルなどを持って来て、最初の1時間目は集中できたが、その後の2時間目3時間目になると、どんどん集中力を欠き、トイレに行ったり、手遊びが始まった。一日目は折り紙を渡したり、二日目は学校長に相談し、図書室を利用させていただいた。ずっと何かを勉強するというのは低学年には難しかった。

#### **遠山委員**

具体的には自習みたいな感じだったのか。

#### **事務局**

学習自体はそれぞれ課題を持ってきて、分からない所は質問して退職の先生が付いて教える形とした。

#### **梨本副議長**

他にはよろしいか。報告を受けた鎌倉武の実施報告について了承とする。次に報告事項の2令和3年度生涯学習プラン、アクションプランの推進状況に付いて報告をお願いします。

### **イ 令和3年度生涯学習プラン～アクションプランの進捗状況について**

#### **事務局**

鎌倉市生涯学習プランは、一人一人が、自己の人格を磨き豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現を目指し、鎌倉市の生涯学習について3つの基本目標と5つの施策の方針を定めたものである。鎌倉市生涯学習プランを着実に推進するため、本プランが掲げる5つの施策の方針とそれぞれの施策の方向性について、本市の取り組みを一覧にまとめたものが、鎌倉市生涯学習プラン～アクションプランになる。生涯学習プランに基づき、取り組み内容、成果や課題等を教育委員会、市長部局の各課に照会し、まとめたものが令和3年度鎌倉市生涯学習プラン～アクションプラン推進状況

報告書になる。照会内容については、第一回社会教育委員会議定例会でご協議いただき、連携している課や団体等、成果、評価する特記する実績、課題等、今後の取り組みと言う項目としてまとめた。令和3年度（2021年度）鎌倉市生涯学習プラン～アクションプランの事業総数は62件で、そのうち達成25件、ほぼ達成35件、未執行2件、新規事業3件となった。新規事業については最終ページに記載している。未執行は、文化課が担当する都市提携事業において、新型コロナウイルス感染症の影響により都市交流事業奨励金の利用がなかったため、もう1件は、歴史まちづくり推進担当が所管する世界遺産登録事業については、新たなコンセプトの構築まで至らなかった理由によるものである。第一回社会教育委員会議において評価のあり方について協議いただき、集客数や配架数等、数値だけが評価の根拠ではなく、修正すべき点、より良くするための課題を次年度に生かすことが重要であるとのご意見をいただいている。今回各事業の成果については、担当課として当初の予定を実施できており、良くするための新たな課題があるが、次年度に継続していけるものであるものを「達成」、当初の予定を完全に実施できなかった、あるいは実施したが、その中で課題とすべきところがあった。修正して継続していくものは「ほぼ達成」、着手までに至らないものを「未達成」として整理している。取り組みの内容について、5つの施策の方針に沿って説明する。施策の方針1は、地域住民・家庭・学校の連携を促進し、次世代を担う子供たちの心をはぐくみ、魅力ある活力のある地域社会を創出することとしている。このために、7つの施策の方向を掲げており、事業番号1-3-2 コミュニティースクール整備推進事業についてだが、これは令和4年度からのコミュニティースクールの実施に向け検討委員会を開催し準備を行うことで、地域住民・家庭・学校の連携を進めるための組織作りができると考えている。令和3年度は、管理職向け研修会の開催、他市コミュニティースクールの視察、学校職員向け、評議員向け説明会の開催を行った。ただ、学校職員の理解促進や地域への周知には課題があり、今後説明会の開催や、地域向けのチラシの作成等を行い、適切に取り組みが進められていくようにしたいとの事だった。施策の方針2には、生涯学習センター等を活用した学習環境を充実し、市民の学びを支援することとしている。このために、4つの施策の方向を掲げている。事業番号2-3-5 川喜田映画記念館等管理運営事業・鏑木清方記念美術館管理運営事業についてだが、指定管理者と協議しながら企画の充実と来館者増を目指し、市民のニーズに合った企画を立案し実施することで博物館等の機能の充実を図るものとなっている。どちらも前年度に比べて来館者数の増加があったとの報告を受けているが、市民のニーズに合った企画内容の検討および市民団体等との連携事業の充実に課題があり、引き続き市民ニーズの把握及び市民団体等との連携事業の検討に努めることで、市民の学習環境の充実が進められていくこととなっている。施策の方針3は、世界に誇る歴史的遺産と豊かな自然を活用した学習環境整備することとしている。このために、2つの施策の方向を掲げており、取り組み状況を記載している。各事業、鎌倉市の豊かな遺産を活用するため、各種委員会の開催、専門家への聴取、出土品の貸し出し、デジタル化などの取り組みを行っている。課題としては、財源及び人

員確保があり、今後の取り組みとして、それらを考慮し、充実に向けて取り組みを継続していくこととしている。施策の方針4は、学習成果を生かし、地域の文化を高め、市民が主体の個性あるまちづくりを推進することとしている。このために、4つの施策の方向をあげている。事業内容4-1-1放課後かまくらっ子推進事業では、身近な地域の中でボランティア活動等の社会参画ができる体制作りを進めることで、ボランティア活動の促進と支援体制の整備の充実を図ろうとするものである。様々な団体と連携することで地域の各種団体の方々によるプログラムが実施され、連携の広がりが見られたとの報告を受けている。施策の方針5は、今日的課題に取り組む学習を支援し、幅広く多様な学習機会の提供を図ることとしている。事業内容5-1-4食育事業では、各種乳幼児健診・各種教室、市ホームページ等を通して、望ましい食生活を送るための情報提供を行うことで今日的課題に対応した学習機会の提供を行おうとするもの。新型コロナウイルス感染症の影響により教室の開催方法を変更、内容変更しての実施、動画配信等を行いながら開催することができたとの報告を受けている。一方で感染対策を行うため、人数を制限したためにキャンセル待ちが多く出たとの課題があり、今後は同内容で実施回数を増やして多くの方が参加できる体制を整え、引き続き、アクションプランにおける事業の取り組み等に係る推進状況等を把握しながら、生涯学習プランの実現に向け取り組みを推進していく。

#### **梨本副議長**

ただいま報告を受けた令和3年度生涯学習プラン～アクションプランの推進状況について質問、意見はあるか。

#### **石井委員**

施策の方針5で、5-1-6の平和推進事業があるが、今後の取り組みというところで「引き続き制度の周知に努める」という制度というのは何か。

#### **事務局**

平和推進事業として市内、小・中学校に向けて話、講話を行っているが、小学校4校、中学校1校での実施している。周知不足があるが、今後、開催する学を周知して増やすと言う事である。

#### **石井委員**

制度と言うのがある訳ではないでよいか。他の施策のとこだと何々制度があって、その制度を引き続くというのが今後の取り組みの中にあつたので、どのような制度なのかなと思った。

#### **田中委員**

学校もそうだが、学校運営協議会での成果が、達成とかほぼ達成など書かれる。ほぼ達成というのはその成果で、来館者の前年度比が198だから達成、ほぼ達成しているであって、客観的に読みとれない。前年度こうだったが、今年こうだった、だからほぼ達成できている、というのは納得できるが、文言だけで実施したそれで達成、ほぼ達成とかそういうのは第三者に評価をお示しする時に、もう少しこのところに入れていただけるとありがたいと思

う。こういう事を考え、それでその結果がこうだったらこの回数やったからほぼ達成だとか。川喜多の KBS グループの指定管理の来場者数については先年と比較すると 137 だったり、198 だったり、その下も 179 なので、まず増加で、ほぼ達成どころか、達成ということで良いのではないかと私は思っている。そういうところが親切に書かれるともっと良いと思う。

#### **梨本副議長**

田中委員のご指摘のあったところ、成果のところは達成、ということか。

#### **田中委員**

そうです、そこをもう少し親切に書いてあると分かり易いと思う。

#### **梨本副議長**

確かに根拠と言う意味で意見をいただいた。確かに評価する特記する実績と隣の枠のところにあるが、何か特記する事があれば書くが、達成についてはほぼ達成そのものについて、その説明がより充実するともう少しよいのではという意見だと思った。事務局はこの記述のところどうか。

#### **事務局**

私どもとしても達成して課題があるというのは、どういう事なのかなと読みとった。昨年度と比べてではなく、実施回数等を当初の予定通りに活動出来たという事達成にしているところもあれば、達成にもなっていて、更に良くする為の課題があると書いている事業もあって、事務局としては当初予定を実施できた、さらに良くする為の課題はあるが、実施が出来ているというものについては達成でもいいと整理をしたところである。

#### **田中委員**

我々はこうやって話を聞くから理解出来るので、これを紙ベースで報告書だけ見た時に、理解出来ない事があるとよくない。だからもう少し行数的に余裕があるので、そこをもう少し上手く、文言を少し入れると、この紙を見ただけで、なるほど上手くいったのだ、ほぼ達成できたのだという事が分かると思う。

#### **梨本副議長**

この辺りは数の評価が難しいところもあり、一回、二回実施されてもそれが実施されたと書くだけでも何かエビデンスのような事になるかと思う。少し記入欄に余裕があれば、より「達成した」「ほぼ達成した」というのが分かるような書き方になったと思った。

#### **瀬谷生涯学習文化財次長**

補足させていただく。確かに今田中委員ご指摘の通り、この評価する特記の実績のところも各課任せになっていたところがあり、今回はじめてこのアクションプランの進行管理と言う事をやった反省すべき点で、令和4年度の実績を集約する時には、その成果の根拠についても特記事項の所に付記して貰い、さらに特記することがあれば、二段構成で書くような形が出来れば、今田中委員のおっしゃったそのエビデンスの所も含めて各課もおそらく自分達の事業を整理するきっかけにもなると思うので、そのあたり各課の事業とその成果と特記事項の関連性が統一出来るよう事務局の調査のやり方を工夫して行けたらと思う。

### 梨本副議長

次の年度に向けて、改善の余地があるという話だったと思う。意見、質問はよろしいか。では令和3年度ご報告を受けた生涯学習プラン、アクションプラン推進状況については了承する事とする。

### 佐々木部長

石井委員からご質問頂いた所を補足させてもらう。制度として平和に関わる「出前講話」と言うのを文化課でやっている。市内の小中学校対象にやっているが、周知が足りなかったことがあり、市内小中学校に周知をかけながら、出前講話として平和について考える機会をやっていく形になろうと思う。再度担当課と調整しながら進めて行ければ思っている。

### 島田委員

事業内容は令和3年度の事業内容と言う理解でよろしいか。そうすると来年度はこの事業内容が令和4年度の内容に書き直させられて設定させるという理解でよろしいか。固定の目標なのかと思ったが、年度ごとの評価なので、要するに事業内容というのは、その年度の事業内容、事業目的という理解でよい。

### 佐々木教育文化財部長

補足すると、事業によっては同じ様な物、3年度、4年度、5年度と継続的にやっていく事業があれば、事業展開としてまず最初に準備段階をやり、この次のステップとして、具体的に計っていくものもある。年度ごとに進み方も違っており、毎年度やっているものは課題を改め、充実、発展させていく事業もあると理解頂きたい。

### 島田委員

完結してしまう物もあるし、何年間で1年目の計画は予定通り達成、2年目はこう、そのような見方をすれば良いか。

### 梨本副議長

事業番号は変わらずに、内容については積み上げて次年度には変わってゆくという理解でよろしいか。

### 佐々木教育文化財部長

基本的に生涯学習プランとして皆さんで議論頂いて定めたプランが実現して行くという方向性になっている。施策方針が5つあり、それにぶら下がる鎌倉市として取り組んでいる事業、3年度から取り組む事業をぶら下げて位置づけいる。その方針を実現化していく中で毎年度改善をしていきながら、各施策の方向を実現化し、将来的には全体の生涯学習プランが実現化していく、そういうような形で作っている。そのような意味では単年度で終わる事業を毎年度繰り返えすとか、ステップアップしていくような中身が鎌倉市としてやっていく事業がここに掲げられているというように理解いただければと思う。

### 梨本副議長

それではまた令和4年度にまた新しい進捗状況が報告されるという事で、アクションプランについては了承という事でよい。報告事項ウの説明をお願いします。

## ウ 鎌倉市生涯学習センター指定管理者導入の進捗状況について

### 瀬谷教育文化財部次長

鎌倉市生涯学習センターの指定管理者の指定について鎌倉市 CITY パートナーズが鎌倉市生涯学習センター指定管理者の候補者となった事を報告した。その後市議会の6月定例会において議決をいただき、7月1日付けで鎌倉 CITY パートナーズを生涯学習センターの指定管理者として告知した。現在、基本協定書を締結し、10月1日からの円滑な運営管理の移行を目指し、8月16日から25日にかけて各学習センター利用者説明会を開催し、利用者からのご意見、ご要望を伺い、より利用しやすい施設運営となるよう現在鎌倉 CITY パートナーズと取り組んでいるところである。利用区分として、様々なご意見を頂いたところだが、10月1日以降の申し込み状況について、施設により多少の前後はあるが平均すると1枠2時間以内の申し込みが66%、2枠の申し込みが34%となっている。

### 梨本副議長

只今報告を受けた鎌倉市生涯学習センター指定管理者制度導入の進捗状況について、質問、意見はあるか。

### 杉野委員

鎌倉市のPTA連絡協議会で学習センターを利用するにあたって、優先枠なども学務課を通して取っているが、今までは減免の対象であるが、今後はそういったものはどうなるのか。

### 事務局

現在も学務課がPTAの会合は予約している。引き続き対応は同じで、学務課の方できちんと予算措置をし、PTAの皆様にとっては、変更はない事とご理解いただければと思う。

### 梨本副議長

PTAの減免があるという事で理解を得られた。他はよろしいか。鎌倉市生涯学習センター指定管理者制度導入の進捗状況については了承する。次に報告事項エに移る。

## エ 第4次鎌倉市図書館サービス計画および第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定について

### 栗原図書館長

(資料差替えあり) 図書館では令和4年度末で計画期間が終了する鎌倉市図書館サービス計画および鎌倉市子ども読書活動推進計画について、見直し作業を進めている。計画期間については、鎌倉市総合計画と計画スパンを合わせるため、令和5年4月を始期とした3年計画を検討している。次に、計画の概要だが、図書館サービス計画では、現行の計画で定めた図書館ビジョンで「繋がる、広がる、百年図書館」の実現に向け、図書館サービスの向上を目指すために、2本の柱を中心に、計画作りを進めている。1本目は、持続可能な図書館運営に向けた土台作りとして、デジタル化社会への対応。図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充。鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築およびサービスの検討。図書館のあり方も



含めた施設造り等の検討を位置づける。2本目は、図書館サービスを支える人材の育成と確保とし、図書館ビジョン「繋がる、広がる、百年図書館」の実現に向けた適正な体制整備と人材育成などを位置づける。次に、鎌倉市子供読書活動推進計画だが、継続的に、家庭、地域、学校、行政が連携し、鎌倉市の子どもたちの豊かな読書環境を整備することを目指し、サービス計画と同様に、2本の柱を中心に、計画づくりを進めていく。柱の1本目は、読書バリアフリー法への対応として、図書館、本、情報にアクセスするために、どのような障害があるのかといった課題の把握、関係部署、学校、施設、団体等と連携していく仕組みづくりの模索。また、具体的な施策の検討を行い、短期の目標を立て、対応を実現していくことを位置づけている。2本目は、GIGA スクールを含む、電子情報と本とのハイブリッドな読書環境整備とし、電子化、また子どもに合った媒体研究の現況把握。図書館、学校、そのほかの機関で、それぞれの機能や役割の確認を行い、それぞれの特性を活かしながら、持続可能な連携の構築を目指すこと。また、具体的な施策の検討を行い、短期の目標を立て、対応を実現していくことを位置付けている。それぞれの計画策定にあたっては、鎌倉市図書館協議会、また保育園代表、市立幼稚園協会代表、小中学校代表、公募市民委員、庁内関係課からなる連絡会議で意見をいただきながら検討を進めているが、図書館に関連する協議会、団体等からの意見だけではなく、利用者や子供たちからの意見も把握するため、まずはこんな図書館があったらいいという題名で図書館の機能などに関するアンケートを、7月15日から8月26日まで実施している。このアンケートは、電子申請での回答も可能とし、来館された方に案内するとともに、小中学校の夏休み向け読書の案内に、QRコードを印刷したものを配布し、回答をお願いしている。また、市民からの意見聴取を行うためのアンケートを、無作為抽出した市民2千人に、郵送で依頼を行ったところである。今後のスケジュールだが、いずれも今年度末までの策定を目指し、素案をとりまとめ、市議会12月定例会、教育・福祉常任委員会での意見聴取等を行うための報告を行うとともに、パブリックコメントを実施して、策定を進めていく。引き続き所定の手続きを経て計画案として取りまとめ、社会教育委員会議での協議を経て決定していきたいと考えている。

#### **梨本副議長**

第4次鎌倉市図書館サービス計画および第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の策定についてご質問ご意見はあるか。ご意見はないと言う事で、了承とする。次に報告事項オについて報告をお願いします。

#### **オ 鎌倉の町並みの変遷をたどる写真記録集製作について**

##### **栗原図書館長**

図書館では令和4年度事業として市民から寄贈され、鎌倉市中央図書館近代史資料室で所蔵している昭和30年代から50年代の鎌倉の風景写真数万点のうち、約千点を活用して写真記録集を製作する事業を進める事としている。鎌倉の少し懐かしい町の風景など主に昭和30年代から50年代頃に撮影された写真を中心として矢倉や切通しの他、宅地開発さ

れる現場など市井の人々の生活等様々な写真がある事、それぞれの撮影場所と撮影日が特定された資料的価値の高い写真も数多く含まれている。当時を知る人にとっては懐かしさを思い起こさせ、また当時を知らない人にとっては知らなかった鎌倉の一面の発見に繋がる写真記録集とする事、それにも増してこの時代の町、人、風景などの貴重な写真資料散逸しない様、まとめて記録に残す事を目的に製作するものである。また製作にあたっては、より多くの方に手に取って頂ける様に紙だけでは無くデジタル書籍も作成し、また一般の書店でも販売出来るよう、市民と共に作り上げ、後世に、また世界の誇れる鎌倉の魅力をより多くの方々に伝えて行くための写真集として頂けるよう。ガバメントクラウドファンディング活用し、趣旨に賛同頂ける多くの皆様のご支援ご協力を頂きながら作成して行く事とした。ガバメントクラウドファンディングの期間は8月9日から9月30日まで53日間、目標金額400万円としており、2万円以上寄付頂いた方については写真記録集に寄付者のお名前を記載する事を提案している。

#### **梨本副議長**

ありがとうございます。

#### **佐々木教育文化財部長**

イメージとして昔の写真を千点くらい入れて冊子化していくこと、電子書籍化し、多くの人、後世に伝えていきたい、ということで、今年度事業として、図書館でやっていく。これを市単独でやるのではなく、市民、またはご賛同頂ける方と一緒に作り上げていくということで、寄付400万という目標金額とした。実際400万かかるので、そのお金を皆さんに、賛同とか協力を頂きながら作っていききたいと思い、今、ガバメントクラウドファンディングという手法でお金を集め、今現在、80万円集まっている。400万は目標金額なので、集まらなくても、市としてはこの事業をやっていくということで、予算化しているので、事業自体は集まらなくてもやるが、例えば400万のうち100万集まって、300万足りないのは市が出すので、100万円分は皆さまからのご協力をいただき、事業としては成り立つ取り組みをしているということである。余談だが、ご関心があるような方がいらっしゃれば、お話しいただき、ご寄付をいただければ幸いである。

#### **梨本副議長**

2点質問する。この写真資料がもともと図書館で持たれているものなのか、2万円以上寄付をいただいた方の対応で写真記録集に名前を記載するとあるが、それは頂けるということはないのか。

#### **栗原図書館長**

写真の資料は、市民の皆さんが自宅に持っている写真というのがたくさんあり、寄贈いただいている。今回の写真集については、3名の写真家の方が鎌倉に訪れ、いろいろな風景を撮りため、記録の残した物をまとめていただき、その中から選定した千点写真集に載せた。選択するのは難しいが、懐かしい街並みをご覧いただけると思う。また、ふるさと寄付金の制度で、ガバメントクラウドファンディングというのを実施している。ふるさと寄付金、市民

の方に返礼が出来ないというような制度になっているので、市外の方と市民と区分けする訳にもいかず、一律、返礼品は無しということで、写真集があげられないかなど検討したが、残念ながら制度上難しく、それに変わる物ではないが、2万円以上の方については、本に載せられると言う事で提案した状況である。

#### **杉野委員**

駅前スーパーの所にも写真が飾ってあったのは、この流れの一環か、全く別の物か。

#### **栗原図書館長**

あれは、この流れとは違い、民間の出版の会社が写真集を出す際に展示を行い、宣伝を行った。それを引き続き店舗の方で掲示して皆さんにご覧に頂いている。来年2月に鎌倉生涯学習センターのギャラリーで写真展を開くなど、多くの方に見て頂く、そういう機会を設けて頂きたいと考えているので、その際にはご覧頂けたらと思う。

#### **田中委員**

製作部数が3千部と言う事だが、2万円寄付させて頂いて買おうと思った時に買えなかったとかは無いのか。非常に大切なものなので、鎌倉市内にある公共施設とか学校とかにはどうなさるのか。たとえば鎌倉市から寄贈する事が可能なのか、それも購入して下さいと言う形になるのか。非常に大切な物になると思う。鎌倉にある学校にとっては、買わないといけないけど、買おうと思ったら三千部はもう売り切れた言ったら、非常に大切なものが購入する事が出来なくなる。その辺の事を、今後で構わないので考えていただけたらと思う。

#### **栗原図書館長**

3千部が多いか少ないかはなかなか難しい。そのうち千部はなるべく学校関係とか、公共の施設等でご覧頂ける所でお渡ししたいと考えている。それから学校、デジタル化と言う形での今回のクラウドファンディングで記録を残すことによって、これを学校の子どもたちが見る機会が設けられないか、そのようなことも検討していきたいと考えている。

#### **梨本副議長**

確かに三千部は微妙なところだが、是非多くの子供たちにも市民にも見て貰える仕組みが出来るとよい。ほかはよろしいか。それでは報告を受けた鎌倉の町並み変遷をたどる写真記録集製作に付いては了承とする。では次に報告事項のカ、令和4年8月から10月の行事一覧に付いて報告をお願いします。

#### **事務局**

一覧表1番なつの学習教室、日程③8月の5、6は4、5の誤り、手元資料の修正をお願いします。現在新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が懸念されている状況であるが、各自、徹底した感染対策を講じ開催していく。社会教育事業では新たな事業の取り組みとして鎌倉武を開始し、なつの学習教室を実施致した。内容については先程報告した通り。2番から13番は各学習センターで実施する鎌倉市生涯学習推進委員会が企画する講座、イベントを掲載、14番から18番は歴史文化交流館、鎌倉国宝館で開催される展覧会の一覧を掲載している。北条氏にまつわる内容を企画するとともに、17番は大河ドラマ「鎌倉殿の13人」

に関連し、鎌倉市推進協議会と共催でシンポジウムを開催する。19番と20番は文化財課の事業になる。遺跡調査に関する展示は鎌倉学習センターの地下のギャラリーで開催中である。引き続き NPO 法人鎌倉考古学研究所大河ドラマ担当との共催で研究発表会が開催される。21番からは図書館での事業になる。乳幼児を対象としたブックスタートを始め、おはなし会などの事業を掲載している。

#### **梨本副議長**

行事一覧についてご質問、ご意見はあるか。

#### **島田委員**

行事一覧というのはこの会議で配られているが、何か一般市民の方が見れるような形で配架されているのか。この情報を一般市民がみようと思ったらどうなのか。

#### **事務局**

会議録としてはホームページに掲載するが、ジャストタイムに公開するということはしていない。終わった後になってしまう。

#### **島田委員**

こういう事業をやっています、というような紹介が一覧で見られるようなものは他にいいのか。それとも、それぞれの情報は個別にとっていくという形か。

#### **事務局**

一覧として見えるものはなく、各施設ばらばらに掲載しているため、ホームページから関心がある行事を引っ張って見る形になる。市民にとってはそういう形になっている。

#### **島田委員**

分野別にでも一覧で見られると良いと思う。また、以前も少しお願いしたことがあるが、アクションプランではスポーツ関係の事業も社会教育事業として取り上げられているが、この行事一覧には掲載されていない。ぜひスポーツ関係の行事も入れてほしいと思うのだが、資料はこの会議用ということで作成しているのか。

#### **事務局**

会議用という形になっている。

#### **島田委員**

それぞれのアナウンスは個別の情報を個々にとっていく、という形か。

#### **事務局**

市民の方にとってはそういう形になっている。

#### **梨本副議長**

島田委員としてはスポーツも含めて一覧があったほうが良いのではないかと思います。

#### **島田委員**

何かの形で社会教育関係事業一覧みたいのがすぐに見られると、入りやすいのではないかと思います。これをやりたい、と思う人はそこから入るのかと思うが、興味を持ってもらうには一覧というものがあってもよいのではないかと思いますので、検討していただけるのであ

ればスポーツ関連も入れてほしい。

**梨本副議長**

今日示してもらっているのは8月から10月だが、数ヶ月のものだけでも、事前に見られたりするとわかりやすく、選べる、ということか。

**事務局**

内部で検討させていただく。

**梨本副議長**

検討いただける、という話だ。確かにばらばらになっているのが当たり前のようになっていたが、このようにまとまってそれが事前にあると確かに良いかも知れない。

**佐々木教育文化財部長**

市ホームページにイベントカレンダーのコーナーというのがあるが、今確認したが、全部が掲載されていないので、入れられるのかなど調整も内部でもしつつ、対応が出来ればしていきたいと思う。

**梨本副議長**

イベントカレンダーは良い活用で、そこが期待できるかも知れないという意見をいただいた。

**文化財課長**

先ほど行事予定の説明にあった、この水曜日から日曜日まで遺跡調査速報展は、昨年度市内で発掘調査をした現場で出た、主な物の展示を地下ギャラリーで開催しているので、お時間ある方は16:30までやっているのでお立ちよりいただければと思う。担当者から説明させていただく。

**梨本副議長**

説明もいただけるかも知れないという話である。それでは今回は、協議事項はないのでその他に入る。次回の定例会11月の日程について事務局から願います。

**事務局**

日程については第1週、第2週で考えているのが、メール等で、調整連絡する形を取りたいがよろしいか。候補としては今のところ11月1日(火)、4日(金)、9日(水)、10日(木)で考えている。時間は今の時間帯を設定する予定である。

**梨本副議長**

これで全ての議題が終了になる。本日はお忙しい中、出席ありがとうございます。

以上で第2回社会教育委員会の定例会を終了する。